

新岩国駅前広場改修事業

1.目的

新岩国駅の駅舎と連動した駅前広場について、円滑な移動環境を創出するとともに交通結節機能の強化と利用者の利便性の向上を図ります。

2.経緯

新岩国駅前広場は、昭和50年の山陽新幹線開業（岡山～博多駅間）に合わせ「御庄土地区画整理事業」において整備され、JR西日本株との協定広場として相互に協議・調整しながら運用しています。

新岩国駅の駅舎については、JR西日本株により既にバリアフリー化が図られているものの、完成後50年近く経過している駅前広場は、施設の老朽化やピーク時における送迎車両の滞留など、多くの課題を抱えている状況です。

こうした課題を解消するため、市では国土交通省の社会資本整備総合交付金（都市・地域交通戦略推進事業）を活用した『新岩国駅前広場改修事業』に取り組むこととしました。

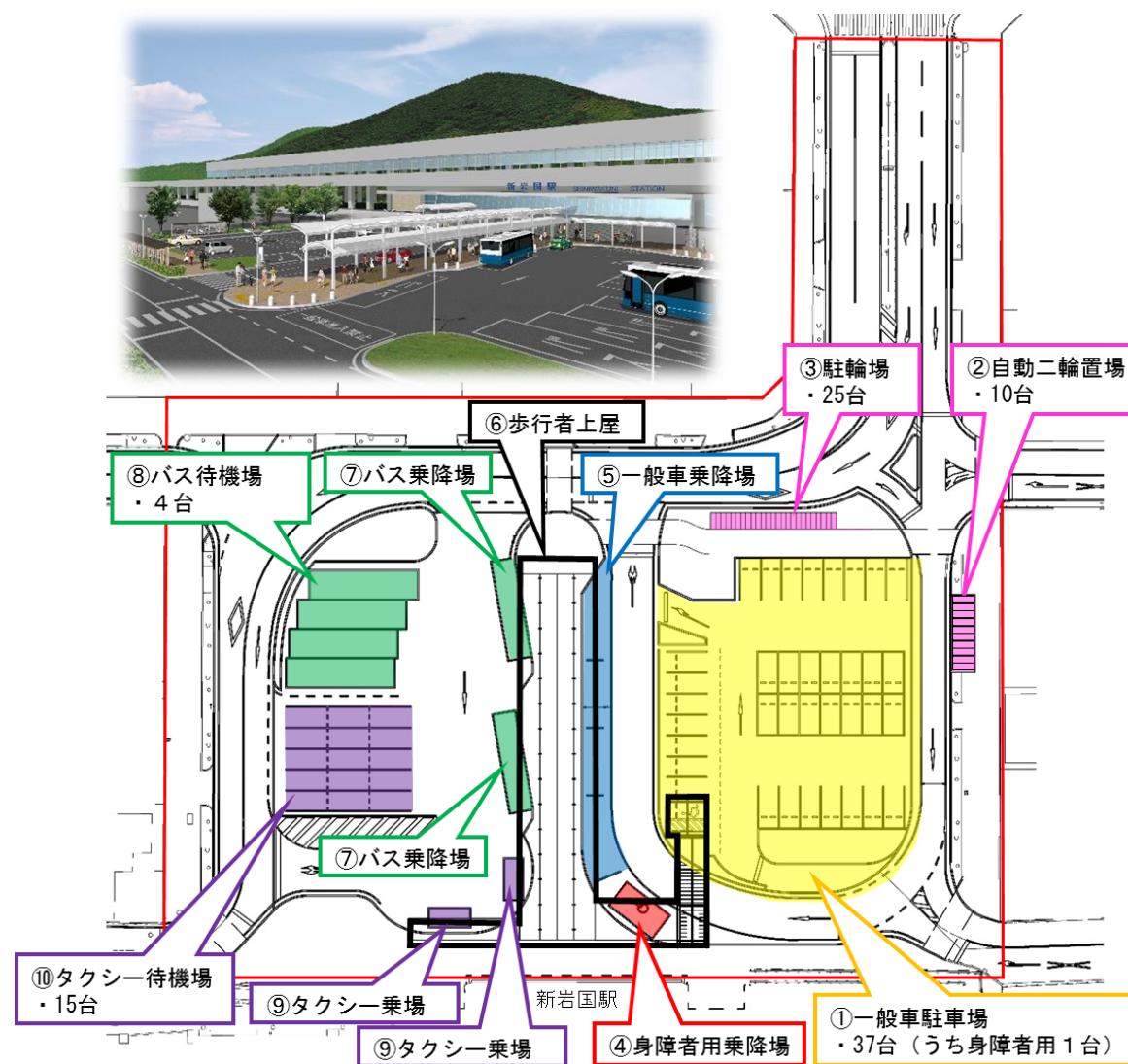
3.整備内容

- ① 安心・安全に利用できる空間の確保
 - ・ 全面的なリニューアル
 - ・ 歩行空間の整備（幅員3.5m以上確保・屋根の設置）
- ② 交通結節点としての機能強化
 - ・ バス・タクシーなどの公共交通と一般車の利用を分離
 - ・ 一般車駐車場の整備（位置の変更・機械ゲート導入）
 - ・ 身体障害者用乗降場の整備
 - ・ 自転車駐車場の整備

4.整備スケジュール

年 度	令和1～3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
スケジュール	基本計画・基本設計	実施設計	発注準備	工事	

5.計画平面図



6.イメージパース

